

第 6 学年 総合的な学習の時間 学習指導案

本時の主張

子どもは、保護者や商店街で働く人へのインタビュー、憧れの職業調べから、様々な仕事の内容や働く人の考えや思いなどを知った。しかし、集めた情報がまだ断片的だったり漠然としたりしているため、就きたい職業や将来の自分を思い描く今後の学習における自分の課題を何にして追究を深めていけばよいかつかめていない。そこで、本時のような整理・分析場面を設定することで、仕事に対する様々な大人の考えや思いに共通点を見出させ、「働く」ことの本質は「社会に貢献しながら、自己の理想の実現を図る」ことであることに気付かせたい。さらには、その気づきを、今後の学習の方向性「働く人から生き方や考え方を学ぶ」につなげたい。

そのような子どもの姿の具現を目指すとともに、本時で付けたい力である「課題解決を目指して事象を比較したり、関連付けたりして考える力」（単元の評価規準ア③）と、「他者と共同して課題を解決する力」（同ウ②）に迫るため、本時では次の3点の手立てを行う。

- ① 国民の仕事に対する満足度や職業に対する意識調査の結果を提示し、社会の発展に伴って仕事への満足度が低下しつつも、収入以外の目的で働いている人がいることに気付かせることで、問いを引き出し、学習課題「収入を得る目的以外に、大人は何のために働いているのか」を設定する。
- ② 思考ツール「ベン図」を使い、付箋紙に書いた情報を整理・分類させることで、保護者、商店街の人、憧れの職業の人の考え方の共通点を見出しやすくする。
- ③ 「youtuber ヒカキン」が九州北部豪雨復興募金を行ったことや、「社会は誰かの仕事でできている」をテーマにした缶コーヒーのCMについて紹介することで、「何のために働くのか」を考える視点の1つとして、「社会とのつながり」や「社会貢献」があることに気付かせる。

1 単元名 「わたしみらい」

2 単元の目標

○ 様々な人物の職業観や人生観について、講話やメディアから情報や知識を得たり、注目する人物の生き方と今の自分と比べたりすることを通して、自分のよさや可能性への気づきや理解を深め、未来の社会での自己の理想の実現に向けて、よりよい自分になろうとする意欲をもつ。

○ 育てたい資質や能力及び態度

【学習方法に関すること】

- ・問題状況の中から課題を発見し、設定する。 ・必要な情報を収集し分析する。
- ・課題解決を目指して事象を比較したり、関連付けたりして考える。
- ・相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現する。

【自分自身に関すること】

- ・自らの行為について意思決定する。 ・目標を設定し、課題の解決に向けて行動する。
- ・自らの生活の在り方を見直し、実践する。 ・自己の将来を考え、夢や希望をもつ。

【他者や社会とのかかわりに関すること】

- ・異なる意見や他者の考えを受け入れる。 ・他者と協同して課題を解決する。
- ・他者から生き方を学び取ろうとする。 ・よりよい未来の社会に向けて自分にできることを考える。

3 単元の評価規準

	ア) 学習方法に関すること	イ) 自分自身に関すること	ウ) 他者や社会とのかかわりに関すること
評価規準	① 問題状況の中から課題を発見し、設定している。 【課題解決】	① 自らの行為について意思決定している。 【意思決定】	① 異なる意見や他者の考えを受け入れている。 【他者理解】
	② 必要な情報を収集し分析している。 【情報収集】	② 目標を設定し、課題の解決に向けて行動している。 【計画実行】	② 他者と協同して課題を解決している。 【協同】
	③ 課題解決を目指して事象を比較したり、関連付けたりして考えている。 【思考判断】	③ 自らの生活の在り方を見直し、実践している。 【自己理解】	③ 身の回りの環境とのかかわりを考えて生活している。 【共生】
	④ 相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現している。 【表現省察】	④ 自己の将来を考え、よりよくなるよう工夫や努力をしている。 【将来展望】	④ 課題の解決に向けて地域の活動に参加している。 【社会参画】

4 単元の指導計画 (全20時間)

第1次：わたしとは？はたらくとは？ (7時間)

自分のよさについて考えたり、「働く」ことに対する考えを交流したりすることを通して、学習の見通しや追究の視点をもつ。

第2次：ひとから学ぶ（8時間）

地域社会で働く身近な人やプロフェッショナルとして社会から認められている人、21世紀型の個性的な職業に就く人など、様々な人物から生き方や考え方を知ることを通して、仕事へのこだわりや向上心、よりよい生き方を自ら切り拓く姿勢について、自分と比較しながら理解を深める。

第3次：みらいを描く（5時間）

コンピューターを使った自分紹介のスライドショー「わたしみらいストーリー」について、内容や構成などを考える活動を通して、自己理解を深め、自分の中のプロフェッショナルの芽を育もうとする意欲をもつ。

5 本時の計画（7時間目／1次：7時間）

（1）本時のねらい

働く人の思いについて、取材したり調べたりした情報を友だちと整理・分類しながら考えることを通して、働くことの意義は、社会とつながりながら、あるいは社会に貢献しながら、自己の理想の実現をすることであることを理解する。

（2）本時の構想

前時までの活動と子どもの学びの経緯は次の通りである。

- ・将来の夢や自分のよさ等について、アンケートの質問に答えながら、今の自分を見つめ直す。
- ・友だちと互いのよさについて交流し、他者から見た自分のよさを知る。
- ・「働く」ことについて意見交流をしたり、職業調べをどんな視点ですればよいか決めたりする。
- ・家の人の仕事について調べ、「なれるまでの道のり」「スケジュール表」「楽しさ・喜び」「苦労・悩み」「やりがい」などの視点で整理する。
- ・商店街の人に電話やFAXでインタビューをし、同様の視点で整理する。
- ・憧れの職業についてインターネットや書籍を使って調べ、同様の視点で整理する。

子どもは、保護者や商店街の人、憧れの職業に就く人から、仕事の内容や、仕事に対する思いや考えについて情報を得た。そして、それらの情報を、教師や友だちと一緒に決めた「なれるまでの道のり」「スケジュール表」「楽しさ・喜び」「苦労・悩み」「やりがい」等の視点に沿って整理をした。本時は、今後の学習の方向性を決める大切な場面である。単に職業について詳しくなるだけではなく、様々な職業の人から「生き方や考え方を学ぶ」という単元を貫く大きな目的意識や意欲につなげる1時間にしたい。そのためには、個々が集めた情報を友だちと持ち寄ってさらに整理をかけたときに、働く人々に共通の考え方があることに気付くことが大切である。その気付きが、子どもの統合的思考を促し、2次で出会う様々な大人に対しても、「どんな生き方や考え方をしているのか」「今まで出会った方との共通点はないか」というフィルターで話を聞こうとする姿勢につながるのである。本時では、働く人々に共通の考え方「自己の理想の実現」「社会とのつながりや社会貢献」に気付かせるために、情報整理の視点として「何のために働いているのか」という学習課題を設定する。働くことの意義を考える活動を通して、働くことの魅力や価値、奥深さに気付き、「もっといろいろな職業の方から生き方や考え方を学びたい」と探究の意欲を高める子どもの姿を期待する。

本時のねらい達成と子どもの主体的で対話的で深い学びを実現するために、次の3つの手立てを講ずる。

① 子どもの問いから学習課題を引き出すために、導入で資料を提示する。

導入で、厚生労働省「国民の仕事に対する満足度」とISSP「職業意識」の調査資料を提示する。1つめの資料では、年々、「雇用の安定」「収入の増加」が低下しつつも、「仕事のやりがい」は比較的水準を保っていることを読み取らせる。さらに2つめの資料において、「収入以外の目的で働く人」や「お金を稼ぐ必要がなくても仕事をもちたい」の割合が日本は比較的に高いことを読み取らせる。それら2つの資料から、収入以外にも仕事へのやりがいを感じて働いている人々が多いことに気付かせ、そのやりがいとは何なのかという問いを引き出す。そして、「収入を得る目的以外に、大人は何のために働いているのか」を子どもの発言やつぶやきから学習課題として設定する。

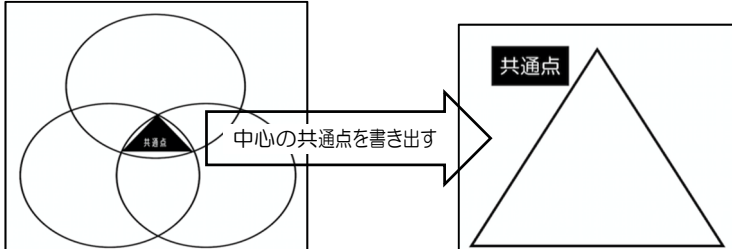
② 情報から共通点を見出させるために、思考ツールを用意する。

思考ツール「ベン図」を使い、付箋紙に書いた情報を整理・分類させることで、保護者、商店街の人、憧れの職業の人の考え方の共通点を見出しやすくする。学習課題を設定した後に、解決の見通しをもたせるために調べたことをまとめた表のどこを見れば働く意義についての考え方が分かるかを問い、「楽しさ・喜び」「やりがい」に注目させる。そこを付箋に書き出して、ベン図を使いながら友だちと共通するものがないか見つけ出し整理をしていく。

③ 働く意義についての考えを広げたり深めたりすることを促すために、追資料を提示する。

「youtuber ヒカキン」が九州北部豪雨復興募金を行ったことや、「社会は誰かの仕事でできている」をテーマにした缶コーヒーのCMについて紹介することで、「何のために働くのか」を考える視点の1つとして、「社会とのつながり」や「社会貢献」があることに気付かせる。ベン図を使って洗い出した共通点を各グループに発表させた後に2つの動画を見せる。子どもに馴染みのある人物や動画を媒介にすることで、興味・関心を引き出すとともに、「人は社会とのつながりの中に自分の存在や役割を感じて生きていること」や、「自分にしかできない仕事を頑張ることがひいては誰かのためになっていること」など、働くことの本質への理解が、子どもの中で具体的なイメージをもって促されると考える。

(3) 本時の展開

学習活動	教師の働き掛けと予想される児童の反応 (含む学習内容)	■評価基準 (観点/方法) ○留意点
<p>1 2つの資料を読み取る。(5分)</p> <p>2 学習課題を設定する。(3分)</p> <p>3 解決の見通しをもつ。(2分)</p> <p>4 ベン図を使って情報を整理・分類する。(17分)</p> <p>5 各グループの考えを共有する。(3分)</p>	<p>T1 この折れ線グラフを見てください。国民の仕事への満足度を表した結果です。何がわかりますか？ C1 全部下がっている。 T2 そんな中でも「やりがい」は水準をキープしていますね。 T3 次の棒グラフを見てください。「仕事は収入を得る手段以外の何ものでもない」「お金を稼ぐ必要がなくても仕事もちたい」について調べた国際調査の結果です。グラフから分かることは何ですか？ C2 日本人には収入以外の目的で働いている人がまあまあ多いことがわかります。 T4 この2つのグラフから考えたことを教えてください。 C3 日本人はお金以外の何かやりがいをもって働いているけど、いったいどんなやりがいがあるのか知りたいです。 T5 収入を得ることは確かに大事ですが、やりがいなど、それ以外の働く目的がありそうですね。世の中の大人は何のために働いているのでしょうか。もっと知りたくないですか？ C全 知りたいです T6 では、今日はどんな学習課題を立てましょうか？アイデアを隣の人と話し合ってください。 C4 何のために働くのか T7 みんなから聞こえてきた言葉を使って、今日の学習課題を立てます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習課題 収入を得る目的以外に、大人は何のために働いているのだろうか？</p> </div> <p>T8 今日はこの学習課題をみんなで解決していきましょう。 C全 はい T9 みんながここまで調べた「おうちの人」「商店街の人」「憧れの職業の人」の3人の情報から課題を解決するための手がかりを見つけようと思います。調べたことをまとめたプリントのどこを見ればいいですか？ C5 「やりがい」です C6 「楽しさ・喜び」や「こだわり」も参考になると思います。 T10 そうですね。それぞれの人の「やりがい」「楽しさ・喜び」「こだわり」を整理していけば解決につながりそうですね。今日は、思考ツール「ベン図」を使って整理しましょう。やり方を説明します。</p> <div style="text-align: center;">  <p>中心の共通点を書き出す</p> </div> <p>T11 今回は、3つの内容「やりがい」「楽しさ・喜び」「こだわり」に分類していきましょう。それでは、始めてください。 C7 うちのお母さんは看護師だけど、具合が悪かった患者さんが元気になったのを見たときに「やりがい」を感じると言っていたよ。 C8 商店街の方が、お客様に感謝の言葉をもらったときに「喜び」を感じると言っていました。 C9 私の憧れの獣医師さんの言葉に、動物に対しても人と同じように相手の気持ちを考えて接すると書いてあったよ。これは「こだわり」だと思いました。 C10 いろいろ出たけど、共通することはあるかな？ C11 きっと相手と気持ちが通じ合うことという意味で共通するんじゃないかな。 T12 君たちの班では、「相手との気持ちのやりとり」という考えにまとまったね。共通点のところに、キーワードを書いておこう。</p>	<p>○テレビモニターで2つの資料を提示する。</p> <p>○「収入以外」「やりがい」「何のために働く」を板書していき、問題意識の顕在化と共有化を図る。</p> <p>○学習課題のアイデアを隣同士で話し合わせる。</p> <p>○解決の見通しとなる、「やりがい」「楽しさ・喜び」「こだわり」を板書する。</p> <p>○ベン図の使い方 ①ふせん紙に情報を書き出す。 ②3つの内容に分類しながら円の中にふせん紙をはる。はる時は具体的なエピソードを加えながら説明をする。 ③3つの内容に共通なものを中心(黒い三角)に集める。 ④共通点をあらためて自分たちの言葉に直して別のシートの大きな三角形に書き出す。 ○机間巡視をしながら、次のことを行う。 ・分類整理に迷っている子どもへの個別支援 ・共通点を見出せないでいる班への助言 ・班の活動への意味付けと後押し ・各班の学びの様子と考えの把握 ・協同的解決の様子の見取り</p> <p>■3-ウ-②を参照 (他者社会/観察)</p>

<p>6 新たな視点から考える。(5分)</p>	<p>T13 それでは、書き出した共通点を黒板に貼ってください。貼られたものを見ながら、働くことの意味についてみんなが整理したことを確認していきましょう。</p> <p>C12 「相手との気持ちのやりとり」「自分の思いを形にする」「大変な仕事をやりとげた達成感」など、いろいろな共通点がみんなから出たな。</p> <p>T14 「何のために働くか」を考えるもう1つの材料として、次の動画を見てください。(ヒカキンの動画を流す)</p> <p>C13 あっヒカキンだっ!</p> <p>T15 動画を見てどう思いましたか?</p> <p>C14 部屋で一人で仕事をしている「youtuber」に人も、社会の役に立とうとしていることにビックリしました。</p> <p>T16 ヒカキンさんのように自分の好きなように一人で仕事をしている人でも、社会とのつながりを求めたり、社会のために何かをしようと思ったりしているのですね。</p> <p>T17 次にこの前見たジョージアのCMをもう一度見てみましょう。(動画を見た後)どんなことを考えましたか?</p> <p>C15 自分にできないことを誰かがして、自分にしかできないことを自分がんばる。そうやって社会は支え合っていると思いました。</p> <p>C16 ただ自分のために働くのではなく、自分が社会に対して何ができるのかを考えながら大人は働いているんじゃないかと思いました。</p> <p>T18 そうですね。「自分と社会とのつながりの意識」が働く人にとって欠かせないものなのかもしれませんね。私も学校の先生になって本当によかったと思っています。「教育」という社会的な大きな役割を果たしながら、皆さんと一緒に学んだり何かを創り上げたりすることを心から楽しませてもらっています。自分のやりたいことが社会のためになっていたら最高ですよ。</p> <p>T19 では今日の学習をまとめたいと思います。隣の人とどんな言葉でまとめたらいいか話し合ってみましょう。</p> <p>C17 「自分の夢を形にしながら、社会の役に立とうと働いている」かな?</p> <p>T20 みなさんから聞こえてきた言葉を使ってまとめます。</p>	<p>○各班に発表させず、貼られた共通点を教師が紹介しながら全体で確認し、共有する。</p> <p>○働くことの意味として「社会とのつながり」の気付きを引き出すため、「youtuber ヒカキン」が九州北部豪雨復興募金を行ったことや「社会は誰かの仕事でできている」をテーマにした缶コーヒーのCMを紹介する。</p> <p>○一方的な価値の押し付けにならないように、気付きを発言させたり、子どもとやりとりしたりしながら、進める。</p> <p>○教師自身の仕事への思いを話す。</p> <p>○まとめの言葉のアイデアを隣同士で話し合わせる。</p> <p>○多少言葉は変わっても次の要素は押さえられるようにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の理想の実現 ・社会貢献 ・社会とのつながり <p>○振り返りを次の視点で3段落構成で書かせる。</p>
<p>7 まとめる。(5分)</p>	<p>まとめ 大人は働くことによって、自分の夢や思いを実現させながら、社会に貢献しようとしたり、社会とのつながりをもとめたりしている。</p>	<p>○振り返りを次の視点で3段落構成で書かせる。</p>
<p>8 振り返る。(5分)</p>	<p>T21 これからの「わたしみらい」では、いろいろな人の仕事について学習していきます。今日の授業のように、働く人がどんな考え方や生き方をしているのかを考えていけるといいですね。</p> <p>T22 今日の学習の振り返りを、次の3段落で書きましょう。</p> <p>C18 私は、お金をかせぐだけでなく、自分のよさを生かしながら、社会のために何か役立つことをすることが働くことだと思います。なぜなら、相手が喜んでくれることが自分の喜びにもなるといういろいろな人が言っていたし、ヒカキンさんも困っている人のためにかせいだお金を寄付していることを知ったからです。これからの「わたしみらい」では、いろいろな人のお話から自分の将来の夢をかなえるためのヒントがもらえるといいなと思います。</p>	<p>①働くことの目的とは何か?</p> <p>②なぜそう考えるのか?今日の学習を生かしてその理由を書く。</p> <p>③今後、どんな学習をしていきたいか?</p> <p>■5-(4)-②・③を参照 (学習方法/振り返りの記述)</p>

(4) 本時の評価

- ① 評価方法： 振り返りの記述で評価する。
- ② 評価規準： 友だちと話し合ったことや資料から新たに知った事実を根拠に、働くことの目的や意義として、「自己の理想の実現」と「社会とのつながり」の両方が大切であることを理解している。
- ③ 評価基準： 次の3点のうち2点を満たすものをB評価とする。
 - ・働くことの目的や意義について自分の考えを記述している。
 - ・ベン図を使った話し合いで導き出した共通点や黒板に掲示された各班の共通点、あるいは、教師から提示された資料を基に、自分の考えの根拠を記述している。
 - ・今後の学習を通して、人物との出会いから生き方・考え方を学びたいことや、それを自分の夢の実現に生かしたいことの意欲や期待を記述している。

7 参考文献

- ・「学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」文部科学省
- ・「今求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」文部科学省
- ・「平成20年度版労働経済白書」厚生労働省
- ・「職業意識調査」国際社会調査プログラム ISSP